

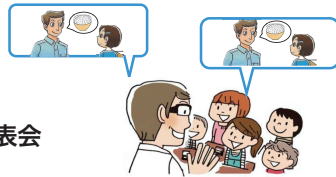
目的・場面・状況を考慮することで

思考・判断・表現力を育成する
言語活動を通じた指導

山梨大学 田中 武夫

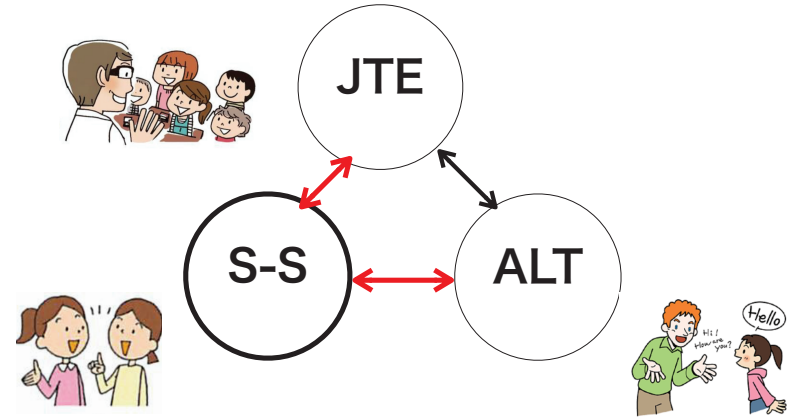
2024年2月9日

英語教育改善プラン推進事業成果発表会



1

授業の中での英語でのやり取り



2

教師と児童生徒のやり取り のポイントと目的

| 目的 | ポイント | 例 |
|-----------------------|----------------------|---|
| 教師のモデルを通し 表現に触れさせる | 繰り返し | Summer. |
| | 言い換え | You like summer. |
| | リアクション | I see. / That's nice. |
| | 関連した質問 | Why? |
| 教師の支援をもとに 表現を引き出す | 日本語でヒントを出して表現を思い出させる | 「私は泳ぐことが好きです」って英語でどう言うんだっけ？ |
| | 途中まで英語を言って表現を思い出させる | I like…? |
| 教師が児童生徒の発 話を修正する | さりげなく修正して正しい形を示す | S: She speak Chinese. T: She speaks Chinese. |
| | 明示的に修正する | S: She speak Chinese. T: 三人称単数現在だから… |

3

言語活動

学習指導要領の外国語活動や外国語科においては、**言語活動**は、「実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合う」活動を意味する。したがって、外国語活動や外国語科で扱われる活動がすべて言語活動かというわけではない。

言語活動は、言語材料について理解したり練習したりするための指導と区別されている。実際に英語を使用して互いの考えや気持ちを伝え合うという言語活動の中では、**情報を整理しながら考えなどを形成する**といった「思考力、判断力、表現力等」が活用されると同時に、**英語に関する「知識及び技能」**が活用される。

(「小学校外国語活動・外国語 研修ガイドブック」より)

4



平成17年度 New Horizon English Course 1

5

Who are the students with life skills?



令和3年度 Here We Go! 1

6

なぜ目的・場面・状況を 意識すべきなのか？

7

目的・場面・状況

「コミュニケーションを行う目的や場面、状況など」とは、**コミュニケーションを行うことによって達成しようとする目的や、話し手や聞き手を含む発話の場面、コミュニケーションを行う相手との関係性やコミュニケーションを行う際の環境**のことを指す。こうした「目的や場面、状況など」は、外国語を適切に使用するために必要不可欠である。例えば、ある情報を得るために読む際には、単に一つの情報をうのみにするのではなく、他の情報と比べるなどして精査する必要がある。また、意見を述べる際には、考えを整理したり話す内容の構成を考えたり、相手に応じた表現を選択したりする。このように、「目的や場面、状況など」に応じた**言語の運用を考えることで、「思考力、判断力、表現力等」が育成される。**

『中学校学習指導要領（外国語）』より

8



9

目的・場面・状況

「**思考力、判断力、表現力等**」については、具体的な課題等を設定し、コミュニケーションを行う**目的や場面、状況**などに応じて、情報や考えなどを表現することを通して、身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。

小学校学習指導要領(平成 29 年告示)解説(外国語活動・外国語編)

10

各単元や各時間の指導に当たっては、コミュニケーションを行う**目的、場面、状況**などを明確に設定し、**言語活動**を通して育成すべき資質・能力を明確に示すことにより、生徒が学習の見通しを立てたり、振り返ったりすることができるようにすること。

『中学校学習指導要領(外国語)』より

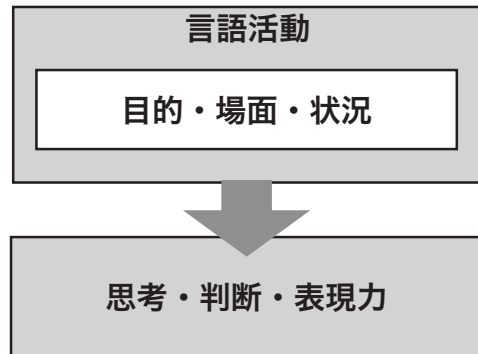
11

思考・判断・表現力と 目的・場面・状況、言語活動の関係

言語活動を通して、**目的や場面、状況**を考慮しながら、伝える内容を**思考**し、アイデアの中から何を伝えるかを**判断**し、それを英語で**表現**する。

12

思考・判断・表現力と
目的・場面・状況、言語活動の関係



【「話すこと[やり取り]」イの評価規準の設定例】

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|---------------|--|--|--|
| 評価規準 (設定例) | <知識> 助動詞 can や疑問詞 when を用 言語材料 いた文の構造を理解している。 | 外国人に「行ってみたい」 目的等 とってもらえるように、 とってもらえるよう に、 | 外国人に「行ってみた 目的等 い」としてもらえるよう に、 |
| | <技能> 町や地域について、事実や自分 話題 の考え、気持ちなどを整理し、 内容 などを整理し、簡単な語句 や文を用いて伝えたり、相 手からの質問に答えたりし ている。 | 町や地域のことについて、 話題 事実や自分の考え、気持ち などを整理し、簡単な語句 や文を用いて伝えたり、相 手からの質問に答えたりし ている。 | に、町や地域のことについ て、 話題 事実や自分の考え、気持ち などを整理し、簡単な語 句や文を用いて伝えたり、 相手からの質問に答えたり しようとしている。 |
| | 助動詞 can や疑問詞 when など 言語材料 の簡単な語句や文を用いて伝 えたり、相手からの質問に答え たりする技能を身に付けてい る。 | 手からの質問に答えたりし ている。 | 相手からの質問に答えたり しようとしている。 |
| | | | |

文部科学省「『指導と評価の一体化』のための学習評価に関する参考資料(中学校外国語)」より

この目的・場面・状況における「目的」
とは、授業目標の**行動**ではない

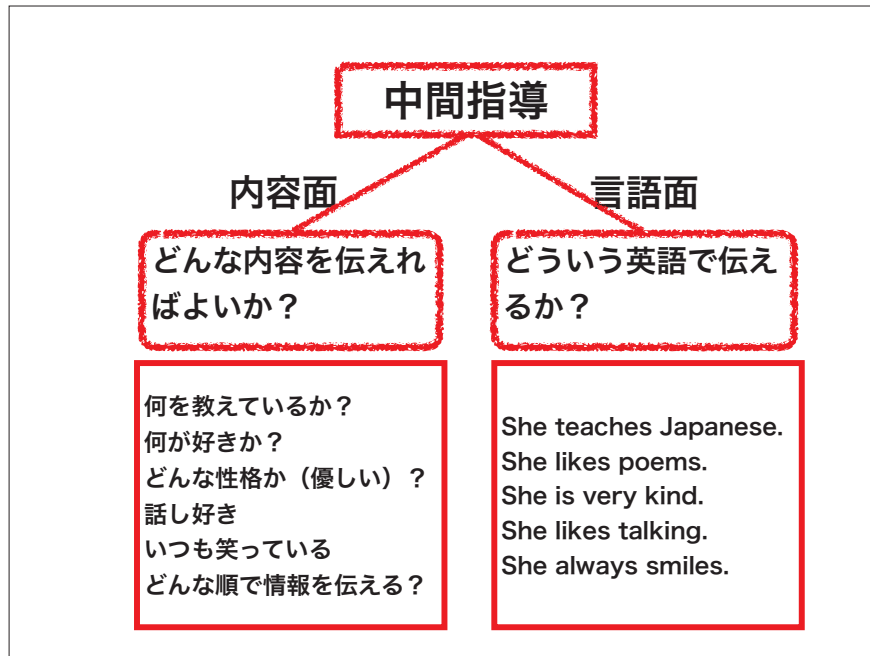
この「目的」とは、授業目標の行動
(言語活動の行動)の**目的**のことである

場面
状況

- ・ALTの先生が自分の趣味(音楽、スポーツ、日本語、もの作り)について学校の先生から習いたいと思っている
- ・ALTの先生は、学校にきてまだ1年経っていない
- ・学校や先生のことをあまり知らない

目的
行動

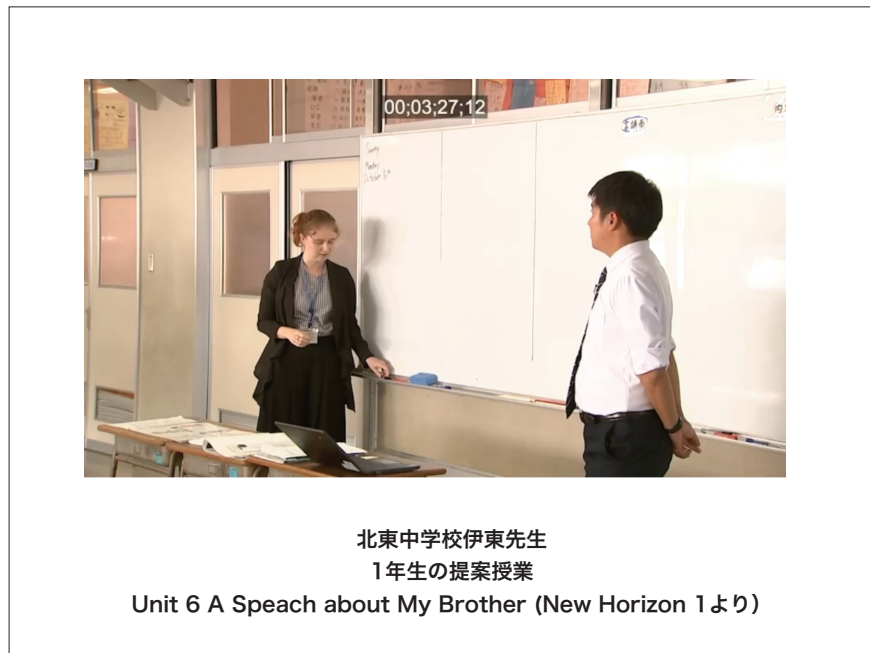
ALTの先生が学校の先生に気軽に話ができるように、ALTの先生に、学校の先生の得意なことやどんな人かを伝えよう



17

| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|------|--|--|--|
| 評価規準 | <p><知識> 三人称単数現在形の特徴やきまり、文の構造を理解している。</p> <p><技能> 学校の先生のどんな人かについて、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、三人称単数現在形などや簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p> | <p>ALTの先生が学校の先生に気軽に話ができるように、学校の先生がどんな人かについて、事実や自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしている。</p> | <p>ALTの先生が学校の先生に気軽に話ができるように、学校の先生の得意なことやどんな人かについて、事実や自分の考えや気持ちなどを整理し、簡単な語句や文を用いて伝えたり、相手からの質問に答えたりしようとしている。</p> |

18



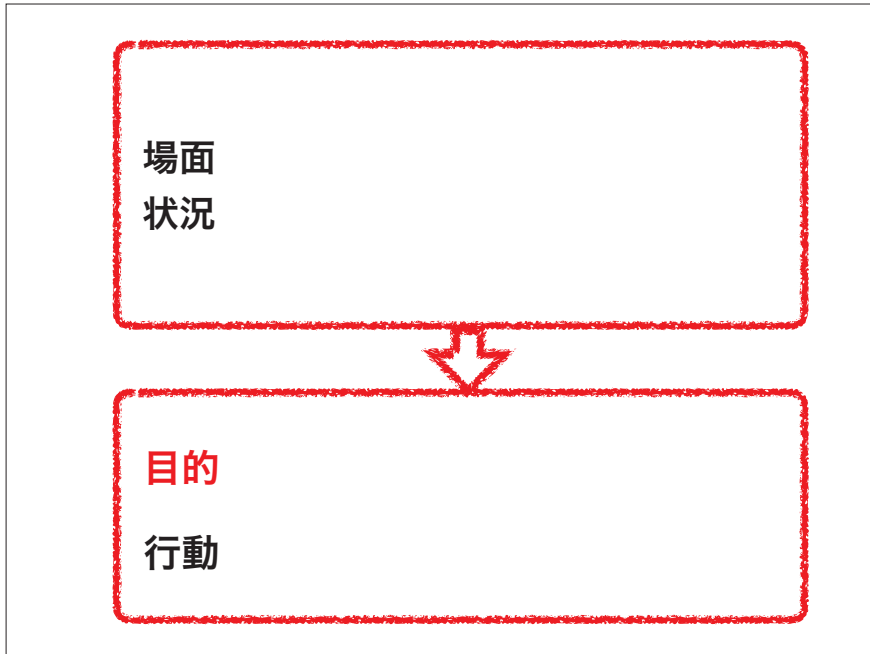
19

課題

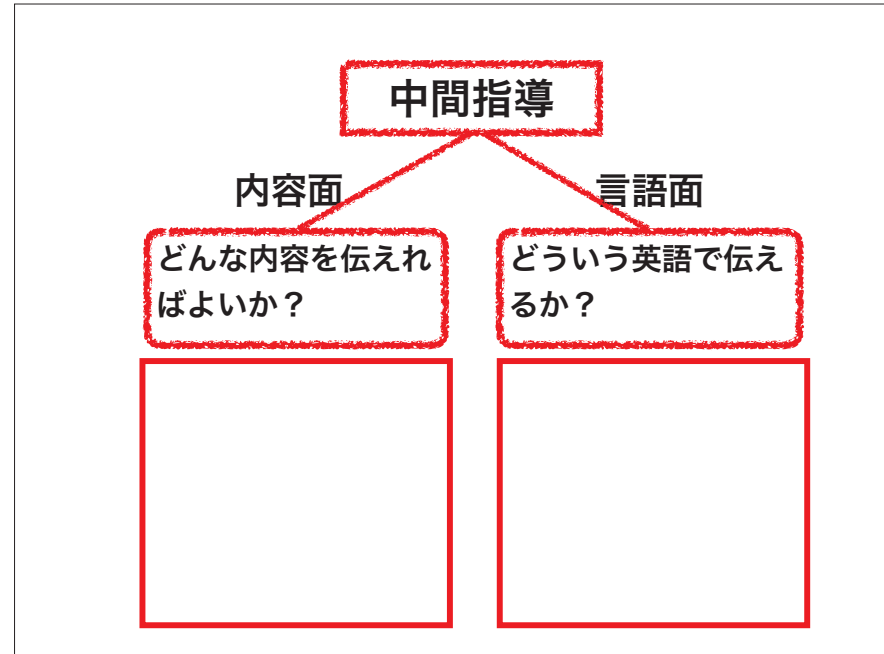
小学校5年生「ALTの先生に学校の給食のことを紹介しよう」という授業の目的をもとに**言語活動の目的・場面・状況**を考え、**中間指導**も考えよう

既習表現：
This is…
Do you like…? I like ….
What food do you like?
What's this? It's ….
It's salty/ spicy /sweet…
Can you …? I can … You can…

20



21



22

思考・判断・表現力を育成する言語活動を通した指導例

場面状況

- ALTの先生は、毎日お弁当を持ってきていて、学校の給食を食べたことがない
- 学校にきて10年経っているが、給食のことを詳しく知らない
- ALTの先生は、学校の給食がどんなものかに興味をもっている

目的行動

ALTの先生が、給食を食べてみたいと思うように、学校の給食について、詳しく紹介してみよう

内容面 中間指導 言語面

どんな内容を伝えればよいか？ どういう英語で伝えるか？

人気のメニューは？
それは一体なに？
それはどんな味？
なぜ人気があるの？
皆はどれくらい好き？

Wakame rice is No.1.
It's seaweed in rice.
It's salty.
We like wakame.
I want Wakame rice every day.

23

Who

場面状況

アメリカの姉妹校の生徒が、アメリカと日本の中学生が家でどんな家事を手伝っているか比較する記事を書きたいと思っています。姉妹校の生徒の参考になるように、クラスの友達にどんな家事を手伝っているかを尋ね、その結果を英語でまとめてみよう。

目的

行動

(1) was Yes. / No. Yes. / No.

(2) clear

(3) (自分で考えて)

2. 友達が家でしないこと・することについて、発表しましょう。

[例] Ken doesn't wash the dishes, but he clears the table.

新しい情報

I don't think Ken is a student with life skills.

考えや気持ち

24